豊かな心と生きる力をもち、自ら考え、やりぬく小津の子

小津小学校学校だより NO. 5
令和８年９月２日

9月 おづっこ

おもいを伝え合う子　つづける子　つよくしなやかな子　こころあたたかな子



苦手なことこそ輝きに

～行事がいっぱい！　チャレンジできる人になろう～

子どもたちの元気な声が戻ってきた小津小学校。３名の転出入があり、全校児童380名で２学期をスタートしました。熊本で大きな地震が起こったり、日本各地で豪雨災害が発生したりするなど、自然災害の影響や命を守る行動の大切さについて考えさせられる夏休みでした。みなさんはどんな夏を過ごされたでしょうか。一回り大きくなった子どもたちが活躍する姿を見るのが楽しみです。

さて、２学期には、運動会や音楽会など、たくさんの学校行事があります。行事のたびに私が願っていることは、「そのことが一番苦手な人が、やってよかったと思える〇〇会に」ということです。

これは単に、取り組む内容を簡単にするということではありません。走るのが苦手な人や歌が苦手な人こそ「やってよかった」「チャレンジしてよかった」と思える取組になるよう、皆が少しずつ自己変革し、協力して成功させるという意味です。得意な人は、苦手な人が取り組みやすくなるような方法を考えたり、アドバイスしたり。苦手な人は自分にできることは何かを考えたり、できるところから始めたり。それぞれが「ちょっとしたチャレンジ」を自分に課し、自らを成長させるということです。このようなチャレンジが子どもたちの内面を豊かにし、未来を明るく照らしてくれると信じています。

そのためには、おづっこの「お：思いを伝える」に加え、「つ：強くしなやか」に物事に取り組んでいく力が必要です。「実はこれが苦手なんだ…」と伝えることができる強さ、「じゃあこうやってみたら？」と提案できるしなやかさ。そのような力を保護者・地域の皆様と育てていきたいと考えています。子どもたちが壁にぶつかった時には、教職員一同、子どもたちとともに悩み、一緒に乗り越えていきたいと思いますので、２学期も皆様の温かい励ましをお願いいたします。（文責：植村）

暑い中の剪定、ありがとうございました！

小津学区教育後援会のご支援をうけ、８月末に松の剪定をしていただきました。小津小学校のシンボルツリーである松が、すっきりと美しくなりました。





お詫びと訂正

学校だより７月号で、元Ｊリーガーの村田さんのお名前の漢字を間違えて掲載してしまいました。正しくは村田　和哉　さんです。お詫びして訂正いたします。たいへん申し訳ありませんでした。